

# 全国一般福岡地方本部ニュース

(事務所) 福岡県北九州市小倉北区真鶴1-5-15 北九州総合労働会館3階 (発行日) 2015年2月23日

## 2015年 春闘方針を決定!

苦しい生活の改善に向け、全組  
合員総意の要求を作り上げよう!



(2. 11 春闘討論集会)

2月11日(祝)13時より、福岡県中小企業振興センターにおいて、全国一般福岡地本の春闘討論集会及び地本委員会が開催され各支部からの代議員と全労協全国一般のユニオン北九州組合員も結集した。まず、泉野副委員長(福岡支部)が開会挨拶を行い、



(ユニオン北九州本村委員長、坂本電機製作所吉田分会長)



(ホテルニュータガワ甲斐分会長、九水運輸商事大池分会長)

議長には野見山代議員(北九州支部)が選出された。春闘学習会の講演は、ユニオン北九州本村委員長から、「合同労組ユニオン北九州の経験とこれからの課題」というテーマで記念講演があった。同じ福岡県下で合同労組運動の闘いと教訓、さらに今後地域で共に闘う決意など1時間20分にわたり力強く語られ、大変意義深い講演でした。主催者を代表して、地本山岡委員長は、確信の持てる要求を作りあげること、組合員の団結とストライキを組織すること、裁判闘争を闘っている12分会の闘いを前進させること、多くの組合員が立候補する統一地方選を勝利すること、組織の飛躍的拡大運動など、闘う方針提議があった。来賓としては、大野城市清水市会議員、直方市澄田市会議員、みやこ町中尾議員、福岡市落合議員から連帯の挨拶があった。河村地本書記長より、賃上げ13500円以上などの2015年春闘方

針が提案された。新加入分会を代表して北九州支部九水運輸商事分会の大池分会長、争議分会を代表してホテルニュータガワ分会甲斐分会長、裁判闘争で勝利解決、職場復帰した吉田組合員から闘争支援のお礼と闘いの報告があった。閉会挨拶は吉岡副委員長、そして山岡委員長の団結がんばろうで3時間の集会を締めくくった。

全組合員は、地本春闘方針を読破し、消費税による実質賃金のマイナスと、格差是正、そして苦しい家族の生活の改善に向け、大幅賃上げを勝ち取るため、徹底した要求討議を行おう!

## 2015年春闘統一要求

賃金引き上げ要求額 全分会 13,500円以上

自動車教習所共闘会議	17,000円
セメント関連、北九州支部	30,000円
パート賃上げ要求	50円以上(時給)
全国一般最低賃金	月額 151,800円以上 日額 7,590円以上 時間額 980円以上

- 労働時間の短縮について
  - ① 週休二日制を実施すること。
  - ② 年次有給休暇の増日(初年度10日勤続 1年15日最高30日)すること。
  - ③ 年末年始、夏季、ゴールデンウィークにそれぞれ1週間以上の休暇を設定すること。
  - ④ メーデーを完全休日とすること。
- 定年を無条件65歳とすること。
- 退職金については勤続30年で1,500万円まで引き上げること。
- 時間外割増率を次の通り引き上げること。

時間外労働割増率	50%
深夜労働割増率	75%
休日出勤割増率	100%
- 社会保険料の負担割合を労働者3対使用者7の割合に変更すること。

- 労災・職業病の企業上積み補償について次の通り引き上げられたい。

法定外補償 死亡 3,000万円  
(扶養者がある場合は1,000万円増)

- 福利厚生費を支給すること。
- 特別休暇制度として次の休暇を設けること。
  - ① 介護休暇 最高1年間(賃金80%以上)
  - ② 育児休暇 三歳まで通算1年間(賃金80%以上)
  - ③ 看護休暇 小学校までの年10日
- 人員補充と非正規社員の正社員化を行うこと。
- 産別最賃の設立に向け企業内最低賃金の協定化を行うこと。
- 女性の権利確立と母性保護
  - 生理休暇 有給で毎潮2日
  - つわり休暇 有給で必要な日数
  - 産前産後は各8週間の有給出産休暇
  - 育児休業を取らないものは通常休憩時間とは別に、午前・午後各30分ずつの育児・授乳時間
- 事前同意約款の協定
- 有期契約労働者の正社員への転換制度の導入
  - ・通算3年を超える有期契約労働者の無期労働契約に転換する制度の創設
  - ・無期に転換した労働者の労働条件について、原則、正社員と同等とすること
  - ・有期契約労働者と無期契約労働者(正社員)の労働条件の均等待遇に向けて協議すること。
  - ・非正規雇用労働者について、契約更新拒否(解雇)はしないこと。
- 一時金要求 年間基準賃金の6ヶ月

【統一要求日】  
3月2日までに要求提出する。

要求実現に向けて組合員の意思統一を深めるとともに、強力な闘争体制を築いていく。その一環としてスト権批准投票の取り組みを全組合員参加のもとで進めていく。そのなかで組合員一人ひとりに全国統一闘争の意義と組織強化を訴え、強固な闘争体制を確立していく。

春闘要求実現に向けて労働者の権利であるストライキ権を背景に、職場集会、組合旗掲揚、時間内職場集会や時間外拒否、ワッペン闘争など多彩な戦術行使を配置していく。

- (1) 要求提出以降、回答指定日に向け地本・支部の役員を中心に職場オルグと前段交渉を配置し、回答指定日に必ず回答をせまる確約交渉を進めていく。  
回答確約にむけた取り組みは経営者側に春闘要求内容の説明、指定日に誠実な回答を要請する「全国一般労使集団説明会」の開催など創意工夫した取り組みなどで回答指定日に必ず有額回答を出させるため地域段階で具体的な行動配置を追求していく。

- (2) 全国一般は3月の最大のヤマ場を3月20日とし、連合や連合中小共闘の提起を積極的に受け止め、3月段階で可能な限り有額回答を引き出す取り組みを強化していく。

【連合の回答指定ゾーン】  
 <最大のヤマ場> 3月18日  
 <第1次先行組合回答ゾーン> 3月16日～20日  
 <中小集中回答ゾーン> 3月23日～31日

【全国一般の回答指定ゾーン】  
 <第1次回答指定ゾーン> 3月16日～20日  
 <第2次回答指定ゾーン> 3月23日～31日

### 今後の主な日程

3月 8日 福岡県青年団結集会  
 3月 9日 九州交運労協春闘決起集会  
 3月 14日 福岡春闘総決起集会・デモ行進

## 全員がオルグとなり、未組織の仲間に働きかけよう！

全国一般福岡地本は、春闘時期に未組織ビラを11万枚福岡県下に配布するなど、積極的な組織拡大に取り組むこととしている。  
 また、NPO法人労働相談センター福岡とも連携し、2月から3月にかけて県下8カ所で2ヶ月間にわたり労働相談を実施する。  
 福岡地本では、今年に入り、新たに、九州惣菜分会、NPO法人列島会分会、八十分会、丸八商事分会、エミネント分会、埼玉運輸分会、豊国学園分会など、相次いで分会が結成された。

## 豊国学園分会を結成！

北九州市門司区にある学校法人豊国学園高等学校で働く労働者(教諭、非常勤講師)は、2月19日、分会結成総会を開催し、分会職場委員28名を選出し、会社に対する要求事項を決定した。  
 豊国学園高校では、現在の事務局長になって学校が一変した。常勤講師3年で正規教諭となっていた制度を廃止し、一時金などの差別やパワーハラスメント、人権侵害、さらには、企業内労働組合(15名)の撲滅・組織破壊を事務局長が文書で指示するなど、横暴・違法な行為を繰り返している。  
 このようななか、労働者の怒りが爆発し、企業内組合の組合員、教頭、そして多くの常勤講師が個人加盟で全国一般に結集し分会を結成した。今後、学校職場の民主化、いじめパワハラの一掃と事務局長の解任辞職、格差是正と労働条件の改善に向け、闘いを進めていくこととしている。

## 統一地方選挙で政治の流れを変えよう！

2015年4月に実施される第18回統一自治体選挙は、働く者の生活重視の政策実現を地方自治体で実現するだけでなく、暴走する安部政権に鉄槌を下し政治の流れを変える重要な選挙である。  
 全国一般福岡地本は、5名の組合員を組織内候補として立候補することを地本委員会で決定した。自治労福岡県本部の組織内、一般推薦候補と併せて全員の当選を目指していこう。

### 全国一般組織内候補

藤中寛之組合員	福岡県議員(田川郡選挙区)	新
清水純子組合員	大野城市市議員	現5期
澄田和昭組合員	直方市議会議員	現6期
阿具根真哉組合員	大牟田市議員	新
中尾文俊組合員	みやこ町議会議員	現6期

## 大分県日出生台集會に参加！

九州各地から5000人が結集



2015年1月31日(土)、連合九州ブロック連絡会・連合大分主催による「『米軍基地の整理・縮小』と『日米地位協定の抜本見直し』を実現する1.31日出生台集會」が大分県の玖珠川河川敷で開催され約5000人が結集した。大分県の日出生台演習場では、米軍が沖縄で行っていた県道104号線越えの実弾砲撃演習を本土5ヶ所に移転した1997年以降、米軍による実弾砲撃訓練が行われている。本訓練は、「沖縄と同質・同量」の負担という約束であったにもかかわらず、砲撃回数が増加や沖縄では実施されていなかった早朝・夜間砲撃訓練が実施されるなど、実質的には「分散・拡大」されている状況です。これに対する抗議行動として日出生台抗議集會を1999年から開催している。この抗議行動には、全国一般福岡地本は毎年参加している。